

# プログラム説明会 質疑応答

KEIO OPEN  
INNOVATION  
PROGRAM  
京王オープンイノベーションプログラム



KEIO

Q 鉄道以外の御社リソース（たとえば京王バス、京王百貨店、京王不動産、京王プラザホテル、京王設備サービスなど）も含めた協業をご提案することは可能でしょうか。

A 可能です。なお、本プログラムは鉄道事業でのイノベーション創出が第一目標となっておりますので、鉄道事業でのイノベーション創出の中でグループ会社も絡むご提案は歓迎です。また、鉄道事業とは関係しないグループ会社へのご提案につきましては、採択の優先順位は下がりますが、内容によっては連携も検討いたします。

Q このプログラムは、スタートアップ企業やベンチャー企業からの提案を対象にしたものですか。そうでない上場企業などは対象外になるのでしょうか。

A 上場企業様も対象となります。スタートアップ企業様やベンチャー企業様に限らず、共にイノベーションを起こしていけるパートナー様を募集しております。

Q 提案は1社につき1提案となるのでしょうか。複数提案の可否をご教示ください。

A 複数のご提案は可能です。1社1提案という縛りは設けず、提案内容ひとつひとつを審査させていただき、共にイノベーションを起こしていける取り組みを進めていきたいと考えております。

Q リソース以外に発生する費用などは協議の上、負担ということになるのでしょうか。

A はい。実証実験に関する費用など、協議しながら弊社も一部負担を検討してまいります。



Q 持続性が評価観点にあります。今年度採択された場合は次年度以降も実施することが可能でしょうか。

A はい。一過性のイベントで終わることなく持続してイノベーションを起こしていきたいと考えておりますので、事業化し来年度以降も継続して取り組みができるご提案をお待ちしております。

Q 弊社と御社以外に、第三者（例えば他の企業様、自治体、公共教育機関など）を巻き込むことは可能でしょうか。

A 提案内容によって、弊社が有しているネットワークで活用できるものは、受けていただけるかどうかは先方様次第ですが弊社も共に働きかけてまいります。また、貴社が有しているネットワークについてはご活用いただいて結構です。様々な方々との共創も本プログラムの大きな目的のひとつですので幅広く取り組んでいきたいと考えております。

Q 実証から3月までの検証までに終わらず、長期（半年又は1年）に渡る可能性がある場合どのように判断されますか。また、システムの改修等が発生する際は協力いただけるのでしょうか。

A 3月までの実証実験期間内に、完全に成果が出し切れる、というところまでは求めません。ただ、実証実験期間内にサービスを開始し何かしらの成果が測定できる、あるいは推測可能であるというレベルは必要となります。期間内に実施不可能なものは大変申し訳ありませんが採択の優先順位は低くなります。また、システム改修については、全くせずに新しい取り組みを行うには限界があるかと思っておりますので、内容次第になります。システム改修にかかる費用・期間・影響等も勘案し検討してまいります。



Q 提案前に現場で働いている方にアンケートやお話を聞く事は可能でしょうか。

A 提案前の段階となりますと、内容によってケースバイケースの判断になります。

Q 収益があがる提案が実施された場合、収益は御社にあがるのでしょうか。一定の率での成果報酬や、コンサル料等、提案会社に対する金銭的なインセンティブもあるのでしょうか。

A 採択させていただいた提案に基づいて収益が発生する場合には、貴社と弊社にて協議の上で配分を決定させていただきます。なお、提案時に貴社にて考案し提出いただいた内容の知的財産権は全て貴社に帰属します。また、本プログラムに採択をさせていただいた後に、共同で開発された内容についての知的財産権については貴社と弊社にて都度議論の上で決定させていただきます。収益配分においてはこれらの知的財産権の帰属も勘案されます。

Q 鉄道駅、列車乗務員等の装備品のレベルアップに関して、年に複数回の訓練等の提案は可能でしょうか。

A 安全性向上に関するご提案は、本プログラムにおける6つの募集テーマのうち「(2) 鉄道・駅の運営DX：デジタルを活用した運営の効率化・安全性向上」に該当いたします。デジタルを活用した安全性向上に関するご提案をお待ちしております。